



大山 平一郎 OHYAMA Heiichiro 【ヴァイオラ】

英国のギルドホール音楽学校を卒業。1972年マールボロ音楽祭にヴァイオリストとして参加後数多くの国際音楽祭に招待され、またギドン・クレーメル、ラドゥ・ルプー、ミシヤ・マイスキーなど著名な音楽家とも共演する。1973年カリフォルニア大学助教授に就任。1979年にジュリーニ率いるロサンゼルス・フィルハーモニー管弦楽団の首席ヴァイオラ奏者に任命され、1987年にプレヴィンから同楽団の副指揮者に任命される。その後サンタフェ室内楽音楽祭芸術監督、九州交響楽団の常任指揮者、大阪交響楽団の音楽顧問・首席指揮者等を歴任。福岡市文化賞、文部科学大臣賞（芸術祭優秀賞）を受賞。現在、The Lobero Theatre Chamber Music Project（米国サンタ・バーバラ）芸術監督、CHANEL Pygmalion Days 室内楽シリーズのアーティスティック・ディレクター、Music Dialogue 芸術監督。

■ 今後の公演のお知らせ

詳細は、<https://music-dialogue.org/event/> をご覧ください。



Music Dialogue ディスカバリー・シリーズ 2023-2024 9月公演

字幕実況解説付きリハーサル 2023年9月12日（火） 19:00 開始 @中目黒 GT プラザホール

本公演 2023年9月15日（金） 19:00 開演 @めぐろパーシモン小ホール

演奏曲目 ブラームス：ピアノ三重奏曲第3番 八短調 Op.101

フォーレ：ピアノ四重奏曲第2番 ト短調 Op.45

出演者 太田糸音（ピアノ） 矢野玲子（ヴァイオリン）、大山平一郎（ヴァイオラ）、柴田花音（チェロ）

Music Dialogue DUO プロジェクト

字幕実況解説付きリハーサル 1：2023年8月9日（水） 19:00 開始 @中目黒 GT プラザホール

字幕実況解説付きリハーサル 2：2023年11月3日（金） 19:00 開始 @中目黒 GT プラザホール

本公演 2023年11月10日（金） 19:00 開演 @Hakuju Hall

演奏曲目 ラヴェル ヴァイオリンとピアノのためのソナタ 第2番 ト長調 M.77

ブラームス ピアノとヴァイオリンのためのソナタ 第2番 イ長調 作品100

サン＝サーンス ピアノとヴァイオリンのためのソナタ 第1番 二短調 作品75

出演者 水越菜生（ヴァイオリン）、白瀬元（ピアノ）、竹澤恭子（ヴァイオリン）、上田晴子（ピアノ）

※出演者やプログラムは都合により変更になることがある場合がありますことご了承ください。

■ Music Dialogue の活動は、皆様からのご支援により支えられています。

継続的にご寄付を頂いている以下の方々に、心より感謝申し上げます。

椿紅子 様・野口博司 様、福羽泰紀 様、安瀨聖司 様、高橋達史 様、出石直 様、河本宏子 様、
貴田守亮 様、小出保之 様、三尾徹 様、田川利一 様、榊原福記 様（順不同）





Music Dialogue ディスカバリー・シリーズ 2023-2024 Vol.1

築地本願寺 講堂

2023年6月25日(日) 開演 16:00

◆フランチ・シューベルト 弦楽四重奏曲第14番 二短調 D810「死と乙女」

第1楽章 Allegro

第2楽章 Andante con moto

第3楽章 Scherzo: Allegro molto

第4楽章 Presto

レグルス・カルテット

吉江美桜 (ヴァイオリン) 東條太河 (ヴァイオリン) 山本周 (ヴィオラ) 矢部優典 (チェロ)

◆ヨハネス・ブラームス 弦楽五重奏曲 第2番 ト長調 Op. 111

第1楽章 Allegro non troppo, ma con brio

第2楽章 Adagio

第3楽章 Un poco Allegretto

第4楽章 Vivace ma non troppo presto

レグルス・カルテット

吉江美桜 (ヴァイオリン) 東條太河 (ヴァイオリン) 山本周 (ヴィオラ) 矢部優典 (チェロ)
大山平一郎 (ヴィオラ)

休憩

◆お客様とのダイアログ

※演奏者に聞いてみたいことなどありましたら、以下の方法かQRコードから
ぜひ質問や感想を送信してください。



インターネットにて「[sli.do](#)」と検索→イベントコード「**3438941**」を入力

[主催] 一般社団法人 Music Dialogue
[協力] 日本音楽財団 (日本財団助成事業)
[助成] 芸術文化振興基金
[協賛] 築地本願寺



芸術文化振興基金

作品解説

◆フランツ・シューベルト(1797-1828) : 弦楽四重奏曲第 14 番 二短調 D810 「死と乙女」(1824)

歌曲を創作の中心としていたシューベルトは、20歳の頃に死神と死に怯える少女のやりとりを語りのように表現した「死と乙女」を作曲する。この歌曲が書かれた7年後、今度はシューベルト自身が自分の死を意識するようになっていた時期に作曲されたのが、弦楽四重奏曲第14番である。

ソナタ形式による第1楽章は、左手で弦をおさえない「開放弦」の明快かつ衝撃的な響きで幕を開ける。歌曲「死と乙女」に由来する三連符のリズムが主要主題となり、楽章全体を構成してゆく。そこに組み合わせられるのは、低弦の伴奏をともなあってあられる明るい副次主題だ。緩徐楽章となる第2楽章は、歌曲「死と乙女」の前奏部を主題に据えた変奏曲。第5変奏のなかばに向かってクライマックスを形作ったあとは、時間をかけて緊張を解いてゆく。スケルツォの第3楽章は、高音（2つのヴァイオリン）と低音（ヴィオラとチェロ）の対比を軸にしてコントラストを形作る。第4楽章はタランテラを思わせる早急な動きの主要主題と、しばらくしてから登場する息の長いフレーズによる副次主題によってソナタともロンドともつかない自由な展開をみせる。これら2つの主題以外にも細かな旋律が耳に残るが、それらはいずれも主要主題から抜き出された要素で作られている。

◆ヨハネス・ブラームス(1833-1897) : 弦楽五重奏曲第 2 番 ト長調 作品 111 (1890)

50代の後半にもなるとブラームスは周囲との衝突が増え、親しい仲間が亡くなることも多くなり、次第に孤独を深めていく。また断筆を考えはじめるほど、自分の音楽が枯れつつあることを自覚するようになっていた。事実、1890年に完成した作品は本作だけである。

ブラームスの友人で、彼の伝記を著したマックス・カルベックによれば、第1楽章冒頭についてチェロが奏でる旋律を機嫌よく公園を闊歩するブラームス自身に見立てて「プラーター公園にいるブラームス！」と喩えたところ、本人は否定しなかったという。第1楽章を除いて暗い雰囲気ではじまるが、いずれの楽章も陰鬱な雰囲気支配されるには至らず、澄み切った響きを通して寂寥感が醸しだされていく。ソナタ形式による第1楽章はブラームスらしい重厚な叙情性が詰め込まれており、緩徐楽章の第2楽章は冒頭に第1ヴァイオリンが奏でる陰鬱な旋律が何度も変奏されていく。続く第3楽章は三部形式による緩やかなスケルツォで、再びソナタ形式となる第4楽章はブラームスが若い頃から好んだロマ（ジプシー）風の音楽を熟年期の流儀で再解釈したものといえるだろう。これら全4楽章を統一するのは、第1楽章冒頭でチェロ以外の楽器が奏でている三度の音程である。この全体を統一する細胞は、全4楽章の隅から隅までゆきわたっており、理知的に音楽を構築し続けたブラームスの面目躍如といえるだろう。

(解説：小室敬幸)

演奏者プロフィール



吉江美桜 YOSHIE Mio【ヴァイオリン】

第12回東京音楽コンクール 弦楽部門 第3位。第84回日本音楽コンクール 第3位。第6回宗次エンジェルヴァイオリンコンクール 第2位。

第69回プラハの春国際音楽コンクール 特別賞受賞。桐朋学園大学ヴァイオリン科を首席で卒業。2019年春には桐朋学園首席卒業者として皇居にて行われた御前演奏会に出演した。これまでに石川杉子、清水涼子、漆原朝子、神谷美千子、原田幸一郎の各氏に師事。2017年度および2018年度ローム・ミュージック・ファンデーション奨学生。サントリーホール室内楽アカデミー 第6期フェロー。



東條太河 TOJO Taiga【ヴァイオリン】

メニューイン国際コンクール 3位。日本音楽コンクール入選。ザルツブルクモーツアルテウム音楽大学に留学、ピエール・アモイヤル氏に師事。東京藝術大学在籍中。東京フィルハーモニー交響楽団、東京交響楽団と共演。サントリーホール室内楽アカデミーフェロー。2022年度ローム・ミュージック・ファンデーション奨学生及び松尾学術振興財団奨学生。これまでに竹原久美子、原田幸一郎、漆原朝子、松原勝也、レジス・パスキエの各氏に師事。9月よりNHK交響楽団契約楽員予定。



山本周 YAMAMOTO Shu【ヴィオラ】

3歳よりヴァイオリンを、18歳よりヴィオラをはじめ。桐朋女子高等学校音楽科(男女共学)、桐朋学園大学を経て同研究科修了。室内楽、オーケストラ奏者として国際音楽祭 NIPPON、武生国際音楽祭、東京・春・音楽祭や宮崎国際音楽祭などに出演。また首席奏者として新日本フィルハーモニー交響楽団、日本センチュリー交響楽団などに客演。これまでにヴァイオリンを森川ちひろ、徳永二男の各氏に、ヴィオラを佐々木亮氏に師事。サントリーホール室内楽アカデミー第4期～第6期フェロー。



矢部優典 YABE Yusuke【チェロ】

8歳よりチェロをはじめ毛利伯郎氏に師事。第86回日本音楽コンクールチェロ部門第2位及びE.ナカミチ賞受賞。第69回全日本学生音楽コンクール高校の部第1位及び日本放送協会賞受賞。これまでに宮崎国際音楽祭、サントリーホール ARK クラシックス、リッカルド・ムーティ「イタリア・オペラ・アカデミー in 東京」等に出演。桐朋学園大学音楽学部ソリスト・ディプロマ・コース修了。サントリーホール室内楽アカデミー第6期フェロー。2023年 CHANEL Pygmalion Days 参加アーティスト。